

V まとめ

1 調査のまとめ

向田遺跡は、およそ10,000㎡の広がりを持つ。そのうち約3,500㎡について発掘調査を実施した結果、多数の遺構と遺物が出土した。調査の成果をいくつかまとめると以下のようになる。

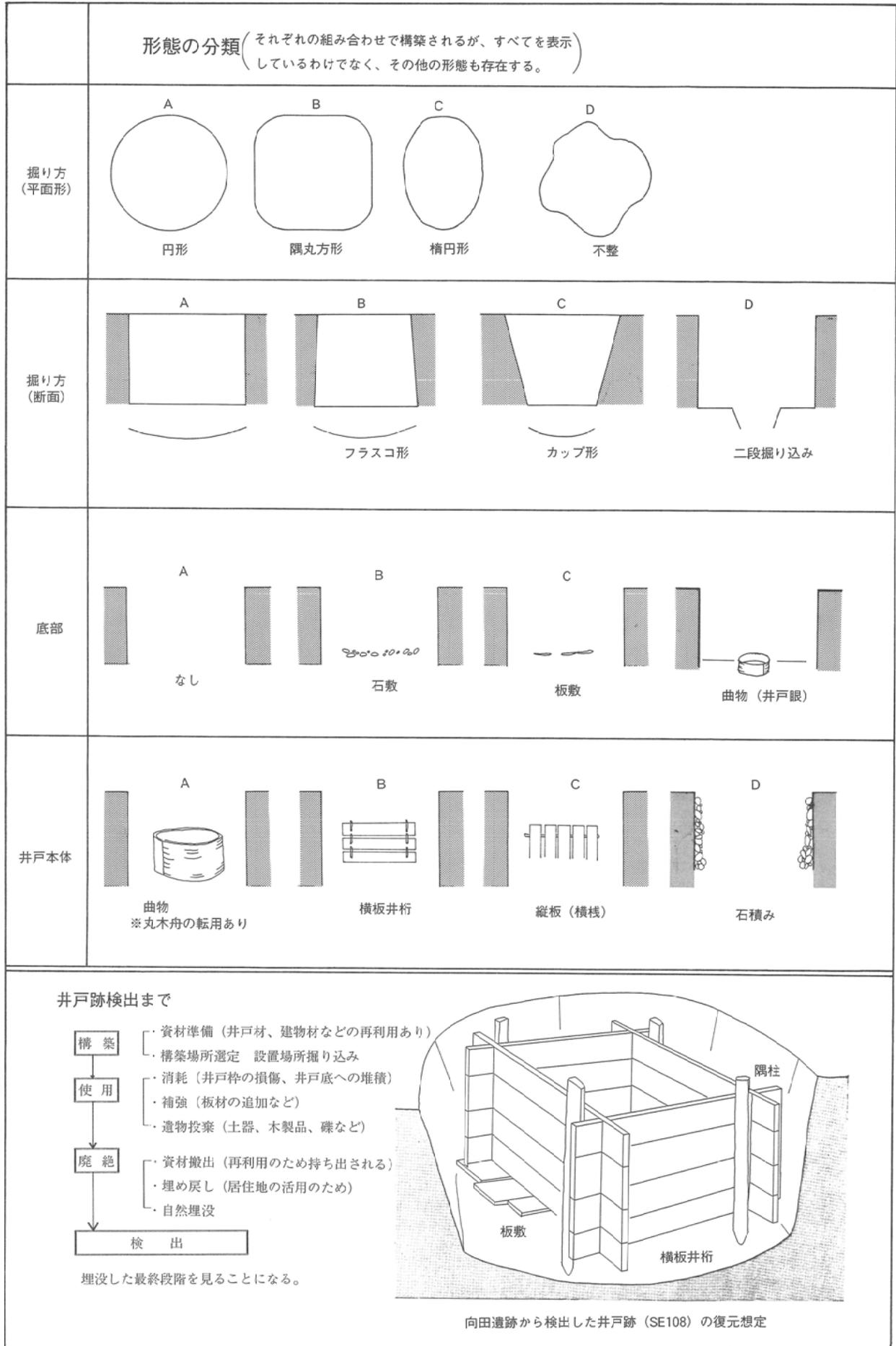
まず第1に、発見された遺構は平安時代と中世以降の2時期に分けられる。平安時代の遺構は建物跡（S B 1）・井戸跡（S E 108）・土壙（S K 96、453、497など）・溝跡（S D 1、26、300など）で出土した遺物などから10世紀後半の年代が想定される。中世以降の遺構は、溝跡（S D 113、118、142）・土壙（S K 128）・牛耕跡などであり、溝跡からは古銭も出土した。遺物は少なかったが縄文時代の石器と土器片が河川跡（S G 500）から出土している。河川上流域に縄文時代の集落が存在するようである。調査中、地表下50 cm（標高6.2 m）から埋没した自然木が5カ所から出土している。樹種はケヤキであり自然堤防上に安定して繁茂していたと思われる。ケヤキの植樹は屋敷林・防風林として、現在の集落でも見られる。

第2に井戸跡（S E 108）の調査で出土した井戸枠板材の観察から、板材は建築部材の転用の可能性が高いことがわかった。枠組に関係の薄い加工や穿孔の観察は、当時の建物構造を探る上でも重要な分野となろう。

2 城輪柵跡周辺の井戸跡分類

出羽国府跡に擬定される『城輪柵』遺跡の周辺には、多数の古代から中世にかけての遺跡が存在し、これまで数多くの遺跡が調査されている。集落を構成する建物跡とともに、井戸跡も多数検出されている。両者はあたかも付随する関係にあるとも言える。以前、井戸の構造や年代について野尻 侃（1982）によって集成されたことがある。その後の資料の増加もあり、1982年以降の集成と分類を試みた（表-6参照）。

井戸跡は、掘り方の規模や井戸枠出土から、遺構精査前に大方判明することが多い。そして、調査して、我々が眼前にするのは井戸が廃棄された最後の状況が埋没したものである。よって、いかなる構造で、いつの時期で、どのような廃棄までのプロセスがあったのか探ることになる。以上の視点で、堆積層・遺物の位置や種類・井戸本体の構造を観察記録している。井戸は平面断面そして本体の構築プランがある。多様なパターンがあるため、個々の事例を区分し、その組み合わせが井戸を構成するものとして分類を行った（第20図）。観察項目は、①掘り方平面②断面③井戸底④井戸本体とした。ただ、井戸板材など廃棄時に持ち出されるケースもあつたり、土壙としたものでも素掘りの井戸であつたりし、なお細部での検討が必要である。また、上部に横板井桁、下部に縦板と井戸本体を2段にしている例もある。曲物は井戸眼として多用される傾向がある。特殊なものに丸木舟の利用があげられる。井戸構築時のポイントは壁の保全と浄化にある。さらに細部の造作等観察する視点は多く、構造上の変化など課題は多い。



第20図 井戸跡分類図

表一 6 庄内地方井戸跡出土例一覽(2)

*1982 野尻 侃「庄内地方の井戸跡出土例」西田遺跡第2次発掘調査報告書」山形県教育委員会に続くもので1983から1989年まで収録。

番号	遺跡 遺構名	所在地	井戸本体				掘り方		出土遺物	発見年度	
			素材	形態	構造	規模(深さ)	底	平面形			規模(深さ)
49	庭田 S E 110	酒田市大字庭田字中村	木組	方形	縦板 横棧	82×82(110)		方形	100×100(110)	須恵器 曲物	1983
50	S E 62		木組	?	?	?		隅丸方形	155×130(105)	珠州系陶器	
51	豊原 S E 44	酒田市大字豊原字榊田	素掘り	円形		径370(270)	曲物	不整形	140×92(80)	越前焼	1983
52	関B2次 S E 30	酒田市大字関字村ノ内	木組	方形	横板井桁 曲物	135×135(250)	石敷	不整形	360×330(145)	須恵器 あかやき 曲物	1983
53	S E 41		木組	方形	横板 隅柱	130×130(130)		不整楕円形	径400(200)	中世陶器 漆器	
54	沼田 S E 10	酒田市大字大島田沼田	木組	円形	縦板	径46(12)	曲物	不整楕円形	180×160(120)	須恵器 あかやき	1984
55	新青渡2次 S E 250	酒田市大字新青渡字家際	木組	方形	?	?		不整楕円形	320×290(117)	木製品	1984
56	S E 260		木組	方形	横板井桁	40×40(50)			径110(85)	須恵器 あかやき	
57	高阿弥田 S E 2	酒田市大字横代字高阿弥田	木組	方形	縦板横棧 隅柱	68×65(120)	曲物	隅丸方形	165×140(105)	須恵器 あかやき曲物 箸	1985
58	S E 3		木組	方形	縦板横棧 隅柱	90×86(110)	曲物	方形	110×100(100)	あかやき 内黒	
59	S E 4		木組	方形	横板井桁	80×75(30)		方形	95×95(35)	須恵器	
60	S E 136		木組	方形	縦板横棧 隅柱	?		?		?	
61	手蔵田2 S E 2	酒田市大字手蔵田字小堤	木組	方形	横板井桁	50×50(130)	曲物	隅丸方形	110×110(120)	須恵器 あかやき 斎串	1985
62	手蔵田12 S E 42	酒田市大字手蔵田字村上	木組	方形	縦板横棧	85×75(?)		楕円形	200×145(90)	あかやき 土師器	1985
63	S E 45		木組	方形	横板井桁 縦板横棧	90×85(240)		隅丸方形	210×210(90)	須恵器 あかやき土師器	
64	S E 167		木組	円形	縦板	径80(100)	曲物2	楕円形	156×142(140)	須恵器 あかやき 箸	
65	下餅山 S E 52	松山町大字下餅山谷地田	木組	円形	縦板 隅柱	径70(50)	曲物	円形	90×80(120)	近世陶磁器	1986
66	手蔵田 S E 29	酒田市大字手蔵田字小堤	木組	円形	縦板 隅柱	径60(120)	石敷曲物	不整円形	180×180(120)		1986
67	S E 33		木組	方形	縦板横棧 隅柱	80×80(55)	曲物	楕円形	160×160(165)		
68	S E 119		木組	方形	縦板横棧 隅柱	90×90(120)	曲物	楕円形	200×200(110)	あかやき 須恵器	
69	南興野 S E 54	酒田市大字新青渡字大坪	木組	方形	横板井桁 縦板横棧	108×80(100)		隅丸方形	254×215(228)		1986
70	S E 61		木組	方形	横板井桁	(100)		円形	180×170(85)	土器42点	1987
71	S E 63		木組	方形	横板井桁	70×70		円形	200×180(185)	内黒 須恵器斎串など	
72	S E 203		木組	円形	丸木舟利用	120×60		不整円形	200×190(166)	内黒 須恵器あかやき	
73	桜林興野 S E 84	平田町大字桜林興野字東田	木組	方形	縦板横棧	100×100(75)		方形(切り合い)	120×110(75)	中世?	1987
74	S E 94		木組	方形	縦板			隅丸方形	135×120(88)	板小片	
75	S E 91		?								
76	上曾根 S E 93	酒田市大字上野曾根字上曾根	木組	方形	縦板横棧	65×65(132)		円形	180×170(110)		1987
77	生石2 S E 101	酒田市大字生石字堀野新田	木組	方形	横板井桁	90×90(100)		方形	170×170(100)	須恵器 あかやき	1987
78	S E 250		木組	方形	横板井桁	90×90(60)		方形	220×210(80)	須恵器 あかやき	
79	S E 490		木組	方形	横板井桁	100×100(40)		方形	200×180(70)	須恵器 あかやき	
80	生石4 S E 1	酒田市大字生石字堀野新田	木組	方形	縦板 横棧 隅柱	70×70(180)	石敷	方形	190×150(200)	須恵器3点	1987
81	S E 2		木組	方形	縦板 丸木舟枠	70×70(130)		隅丸方形	105×95(94)	須恵器 箸 斎串	
82	大楯 S E 171	遊佐町大字小深田字大楯	木組	円形		径50(20)	石敷曲物	楕円形	130×90(50)	漆碗 中世	1988
83	S E 186		木組	方形	縦板 斜め板	70×70(50)		?	90×90(80)		
84	S E 205		木組	方形	縦板横棧	100×100(50)	石敷	長方形	320×60(70)	かわらけ 漆器	
85	S E 338		木組	方形	縦板横棧	100×100(50)		方形	160×160(70)		
86	南興野2次 S E 64	酒田市大字新青渡字南大坪	木組	方形	縦板横棧	120×110(200)		楕円	150×130(98)	須恵器 墨書土器 斎串	1988
87	S E 101		木組	方形	横板井桁	90×80(54)		不整楕円形	165×160(147)	須恵器 あかやき 斎串	
88	S E 104		木組	円形		径35(20)径42(35)	曲物2	隅丸方形	140×110(82)	あかやき 斎串	
89	S E 49?										
90	S E 62?							円形	?	須恵器 曲物	
91	熊野田 S E 110	酒田市大字熊野田字高砂	木組	方形	横板井桁	110×105(?)		不整円形	130×130	須恵器 あかやき 墨	1988
92	手蔵田 S F 41	酒田市大字手蔵田字村上	木組	円形	曲物	径50(55)	曲物	楕円形	140×140(120)	須恵器 あかやき	
93	S E 584		木組	?		径80(150)		楕円形	130×130(?)	須恵器 あかやき	
94	S E 639		木組	方形	縦板横棧 隅柱	56×45(110)	曲物	?	90×90(100)	須恵器 あかやき	
95	桜林興野 S E 64	平田町大字桜林興野字東田	木組	方形	縦板 隅柱 曲物	80×70(80)		楕円形	100×80(90)	須恵器 あかやき	1988
96	矢馳 A S E 15	鶴岡市	木組	方形	縦板横棧 曲物	80×80(120)	曲物	円形	170×170(120)	掘り方から土師器片	1988
97	大槻新田 S E 33	酒田市大字大槻新田字槻の下	木組	円形	曲物 たが	?		不整円形	110×100(115)	中世	1989
98	S E 88		木組	?		60×60(100)		円形	120×120(120)	中世	
99	大槻新田 S E 34		木組	方形	縦板横棧 曲物	55×55(140)	石敷曲物	隅丸方形	160×160(140)	須恵器 あかやき片	1989
100	S E 44		木組	方形	横板井桁 縦板	60×60(100)		円形	120×120(120)	須恵器 あかやき片	